

武蔵野市気候市民会議の開催について

<趣旨・開催の意図>

深刻化する地球温暖化を背景に、地球温暖化対策の動きは世界的に加速しています。

武蔵野市においても、令和3年2月に「2050年ゼロカーボンシティ」を表明し、また、国の地球温暖化対策計画の改定を受け、令和4年4月には、武蔵野市地球温暖化対策実行計画を改定したところです。

今後は今まで以上に、市民、事業者、市とで地球温暖化の問題を自らの問題として強く認識し、一丸となって対策に取り組むことが求められています。

誰もが気候変動問題の当事者としての意識を持ち、対策のための具体的な行動を実践していくため、気候市民会議では、無作為抽出などによって選ばれた市民が、地球温暖化・気候変動対策について話し合う場として全5回開催いたします。市では、会議の議論を踏まえ、市民一人ひとりの環境配慮行動を示す気候危機打開武蔵野市民活動プラン（仮称）を作成していきます。

市民会議でのご意見を参考に市は支援の取組を行うことにより、市民の行動を後押しし、市民と市が協働して地球温暖化対策に取り組んでいく機運を醸成していきたいと考えております。

<武蔵野市気候市民会議 概要>

参加者： 68名（市による無作為抽出と公募によりご応募いただいた方々により構成）

内 容： ゲストティーチャーによる講演、グループ討議・発表、講評

開催日	テーマ	ゲストティーチャー
第1回 7/26(火)	地球温暖化の現状とこれからの社会	江守正多氏
第2回 8/23(火)	モノを買う・使う・手放す	柿野成美氏
第3回 9/27(火)	動く・働く（学ぶ）・遊ぶ	松橋啓介氏
第4回 10/25(火)	住まいのエネルギー	前 真之氏
第5回 11/22(火)	全体ふりかえり	—

※気候市民会議とは、フランスやイギリス等で2019年頃から開催されている会議で、一般の市民が気候変動対策について話し合うものです。国内では、札幌や川崎で市民会議が開催されています。